

# 平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月5日

上場会社名 株式会社ユーシン精機

上場取引所 東

コード番号 6482 URL http://www.yushin.com

代 表 者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小谷 眞由美

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部責任者(氏名)福井 理仁 TEL 075-933-9555

四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日 配当支払開始予定日 平成30年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無:有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高	5	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	10, 586	8. 7	1, 203	21. 5	1, 228	18. 2	861	15. 6
30年3月期第2四半期	9, 743	8. 9	990	△26.3	1, 039	△9.6	745	△12.3

(注)包括利益 31年3月期第2四半期 1,001百万円 (13.8%) 30年3月期第2四半期 880百万円 (96.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	24. 63	_
30年3月期第2四半期	21. 31	_ [

(注) 当社は、平成30年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期 首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	32, 826	27, 123	81. 9
30年3月期	32, 572	26, 472	80. 6

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 26,889百万円 30年3月期 26,243百万円

### 2. 配当の状況

		年間配当金						
	第1四半期末	第1四半期末 第2四半期末 第3四半期末 期末 合						
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
30年3月期	_	15. 00	_	18. 00	33. 00			
31年3月期	_	8. 00						
31年3月期(予想)			_	9. 00	17. 00			

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:無

2. 当社は、平成30年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。平成30年3月期につきましては当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業和	引益	経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22, 000	5. 4	2, 600	10. 2	2, 600	6. 9	1, 800	10. 6	51. 47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:無

#### ※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動):無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用:有

(注)詳細は、添付資料P7.「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 :無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を 含む)

31年3月期2Q 35,638,066株 30年3月期 35,638,066株 31年3月期2Q 664,018株 30年3月期 663,964株 31年3月期2Q 34,974,090株 30年3月期2Q 34,974,588株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は、平成30年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

- ※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2 「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

# ○添付資料の目次

1.当四半期決算に関する定性的情報	2
(1)経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1)四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7
3. 補足情報	8
(1) 受注及び販売の状況	8
(2)海外売上高	8

#### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (1)経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米中間の貿易摩擦の懸念が高まりつつも緩やかな景気拡大基調が続きました。米国では雇用環境の改善が継続し、個人消費も底堅く推移しました。欧州においても雇用・所得環境の改善を背景に景気は概ね堅調に推移しました。アジアにおいては、中国経済の景気減速の兆しが見られたものの景気は安定的に推移し、その他の新興国においても景気回復傾向が続きました。しかしながら、原油高や新興国の通貨下落、米中間の貿易摩擦による世界経済への影響が懸念され、景気の先行きは不透明な状況となっております。

このような状況のもと、当社グループは世界規模での新規顧客の開拓を継続して行っており、当第2四半期連結累計期間における受注は堅調に推移いたしました。当第2四半期連結累計期間における売上高は、日本、米国、東南アジアの各地域において取出ロボット、欧州において特注機の販売が好調に推移したことにより前年同四半期比8.7%増の10,586百万円となりました。利益面においては、部材の調達難等による仕入価格の上昇があったものの、減価償却費の減少、前期に新機種開発の為に集中した開発費用の平準化等により営業利益は前年同四半期比21.5%増の1,203百万円となりました。経常利益については、前年同四半期比18.2%増の1,228百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比15.6%増の861百万円の増収・増益となりました。

#### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

総資産は前期末(平成30年3月31日)に比べて253百万円増加し、32,826百万円となりました。これは主として現金及び預金が489百万円増加したことなどによるものです。

#### (負債)

負債は前期末に比べて398百万円減少し、5,702百万円となりました。これは主として未払法人税等が304百万円減少したことなどによるものです。

#### (純資産)

純資産は前期末に比べて651百万円増加し、27,123百万円となりました。これは利益剰余金が546百万円増加したことなどによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点で、平成30年5月10日発表の決算短信で公表いたしました平成31年3月期の通期業績予想に変更はございません。

# 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5, 655, 106	6, 144, 601
受取手形及び売掛金	7, 042, 925	6, 654, 159
商品及び製品	825, 365	810, 637
仕掛品	1, 117, 029	1, 470, 091
原材料及び貯蔵品	3, 542, 893	3, 809, 453
その他	764, 426	488, 306
貸倒引当金	△20 <b>,</b> 151	△20, 962
流動資産合計	18, 927, 595	19, 356, 286
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5, 424, 201	5, 183, 821
土地	6, 133, 446	6, 142, 361
その他(純額)	325, 771	392, 115
有形固定資産合計	11, 883, 420	11, 718, 298
無形固定資産	494, 152	453, 253
投資その他の資産		
投資有価証券	276, 387	278, 201
退職給付に係る資産	274, 331	271, 764
繰延税金資産	574, 606	577, 774
その他	162, 895	190, 602
貸倒引当金	△20, 501	△20, 011
投資その他の資産合計	1, 267, 720	1, 298, 332
固定資産合計	13, 645, 293	13, 469, 883
資産合計	32, 572, 888	32, 826, 170

	前連結会計年度	当第2四半期連結会計期間
	(平成30年3月31日)	(平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2, 905, 292	2, 745, 687
未払金	505, 356	457, 320
未払法人税等	608, 628	303, 638
前受金	1, 175, 887	1, 309, 481
賞与引当金	256, 847	288, 842
役員賞与引当金	29, 840	16, 878
製品保証引当金	145, 325	139, 185
その他	270, 318	225, 274
流動負債合計	5, 897, 496	5, 486, 307
固定負債		
役員退職慰労引当金	66, 780	66, 780
退職給付に係る負債	51, 486	64, 399
繰延税金負債	32, 855	31, 902
その他	52, 236	53, 355
固定負債合計	203, 358	216, 437
負債合計	6, 100, 854	5, 702, 744
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 985, 666	1, 985, 666
資本剰余金	2, 023, 903	2, 023, 903
利益剰余金	22, 270, 517	22, 817, 261
自己株式	△354, 848	△354 <b>,</b> 910
株主資本合計	25, 925, 238	26, 471, 921
その他の包括利益累計額	•	
その他有価証券評価差額金	97, 103	98, 321
為替換算調整勘定	164, 323	264, 484
退職給付に係る調整累計額	56, 982	54, 870
その他の包括利益累計額合計	318, 409	417, 676
非支配株主持分	228, 385	233, 827
純資産合計	26, 472, 034	27, 123, 425
負債純資産合計	32, 572, 888	32, 826, 170
2	=======================================	3=, 3=3, 110

# (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 (四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

		(十四・111)
	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
売上高	9, 743, 897	10, 586, 849
売上原価	5, 714, 118	6, 437, 841
売上総利益	4, 029, 779	4, 149, 007
販売費及び一般管理費	3, 039, 183	2, 945, 828
営業利益	990, 595	1, 203, 178
営業外収益		
受取利息	2, 893	2, 999
受取配当金	2, 337	2, 538
仕入割引	7, 279	6, 950
為替差益	24, 829	_
その他	12, 594	17, 408
営業外収益合計	49, 934	29, 896
営業外費用		
売上割引	258	435
為替差損	-	3, 789
その他	330	0
営業外費用合計	588	4, 224
経常利益	1, 039, 942	1, 228, 851
特別利益		
固定資産売却益	4, 522	722
特別利益合計	4, 522	722
特別損失		
固定資産除売却損	670	9, 278
その他	92	-
特別損失合計	763	9, 278
税金等調整前四半期純利益	1, 043, 701	1, 220, 295
法人税等	271, 591	323, 823
四半期純利益	772, 109	896, 472
非支配株主に帰属する四半期純利益	26, 927	34, 961
親会社株主に帰属する四半期純利益	745, 181	861, 511

# (四半期連結包括利益計算書) (第2四半期連結累計期間)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
四半期純利益	772, 109	896, 472
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34, 250	1, 218
為替換算調整勘定	73, 780	106, 362
退職給付に係る調整額	230	$\triangle 2, 112$
その他の包括利益合計	108, 261	105, 468
四半期包括利益	880, 370	1,001,940
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	846, 035	960, 778
非支配株主に係る四半期包括利益	34, 335	41, 162

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

#### 税金費用の計算

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果 会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

#### (追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

#### (セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

		報告セク	グメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米国	アジア	欧州	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	5, 390, 230	1, 523, 325	2, 618, 146	212, 195	9, 743, 897	-	9, 743, 897
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2, 369, 497	5, 669	146, 494	1, 935	2, 523, 597	(2, 523, 597)	-
======================================	7, 759, 727	1, 528, 995	2, 764, 641	214, 130	12, 267, 494	(2, 523, 597)	9, 743, 897
セグメント利益	526, 147	138, 713	324, 361	45, 323	1, 034, 545	(43, 949)	990, 595

- (注) 1. セグメント利益の調整額 $\triangle$ 43,949千円は、セグメント間取引消去4,449千円、棚卸資産の調整額  $\triangle$ 48,399千円が含まれております。
  - 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年9月30日) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

		報告セク	ゲメント			調整額	四半期連結 損益計算書	
	日本	米国	アジア	欧州	合計	(注) 1	計上額 (注) 2	
売上高								
外部顧客への売上高	5, 759, 160	1, 767, 171	2, 647, 226	413, 290	10, 586, 849	_	10, 586, 849	
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2, 386, 511	11, 282	143, 882	3, 129	2, 544, 805	(2, 544, 805)	-	
<b>∄</b> †	8, 145, 672	1, 778, 453	2, 791, 108	416, 419	13, 131, 654	(2, 544, 805)	10, 586, 849	
セグメント利益	778, 850	151, 830	304, 441	31, 881	1, 267, 003	(63, 825)	1, 203, 178	

- (注) 1. セグメント利益の調整額 $\triangle$ 63,825千円は、セグメント間取引消去5,694千円、棚卸資産の調整額  $\triangle$ 69,519千円が含まれております。
  - 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. 補足情報

- (1) 受注及び販売の状況
  - a. 受注の状況
  - ①受注高

製品等の区分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	目 平成29年4月1日 (自 平成30年4月1日	
取出ロボット (千円)	8, 043, 701	8, 272, 842	102.8
特注機 (千円)	892, 795	1, 604, 414	179. 7
部品・保守サービス (千円)	1, 610, 484	1, 781, 783	110.6
合 計 (千円)	10, 546, 981	11, 659, 040	110.5

## ②受注残高

製品等の区分	前第2四半期連結会計期間末 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間末(平成30年9月30日)	前年同期比(%)
取出ロボット (千円)	3, 225, 197	3, 549, 567	110. 1
特注機 (千円)	903, 275	2, 728, 948	302. 1
部品・保守サービス (千円)	342, 206	330, 603	96.6
合計(千円)	4, 470, 680	6, 609, 118	147.8

### b. 販売の状況

製品等の区分	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)	前年同期比(%)
取出ロボット(千円)	7, 239, 436	7, 690, 986	106. 2
特注機 (千円)	1, 029, 431	1, 197, 376	116. 3
部品・保守サービス (千円)	1, 475, 029	1, 698, 486	115. 1
合計(千円)	9, 743, 897	10, 586, 849	108. 7

## (2) 海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

	北米地域	アジア地域	欧州地域	その他の地域	計
海外売上高 (千円)	1, 442, 697	3, 965, 606	317, 698	242, 557	5, 968, 559
連結売上高 (千円)					9, 743, 897
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	14. 8	40. 7	3. 3	2. 5	61. 3

## 当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

	北米地域	アジア地域	欧州地域	その他の地域	計
海外売上高 (千円)	1, 610, 706	4, 042, 449	589, 602	364, 502	6, 607, 260
連結売上高 (千円)					10, 586, 849
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	15. 2	38. 2	5. 6	3. 4	62. 4